

平成 18 年度の事業報告書

特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋

第三期事業報告書

1、事業期間

平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日

2、事業の成果

第三期の当法人の活動は、"表現の社会化"と"ネットワークの形成"を柱とした多岐に渡るものとなりました。

オルタナティブスペース cocoroom をベースとした活動には、大阪市からの受託事業「就労支援 cafeBAND cocoroom(8 月～2 月)」や、実行委員会形式で実施された「ことばち～ことばをともだち(5 月～1 月:財団法人地域創造助成/大阪市)」といった通年単位の事業があげられます。

並行する形で、西成釜ヶ崎地区での取り組み【「むすびプロジェクト」「森村泰昌釜ヶ崎ロケコーディネート協力」「サンクチュアリー(日社済助成)」、「あんなこともあったよ～ねえおじいちゃん(大阪コミュニティ財団助成)」】や、若手アーティスト支援のための取り組み「P.P.P.C.B.N.」「Chimes～prick up your ears」、共同課外事業として「田んぼの学校」を通年で「熊野の森に木を切りにいこう!」実施いたしました。

他にも「OSAKA アートカレイドスコープ 2006(大阪府)」への参加や、「大大阪 artTEXT(大阪府楽座事業助成)」の実施、平成 18 年度からの継続事業「ほうきぼしプロジェクト」の本番公演(明治安田生命/エイブルアート・オンステージ)の実施、「アートで極楽(主催:近畿労働金庫/企画:財団法人たんぼぼの家)」への参加や、新世界アーツパーク事業実行委員会による地域と協働した大イベント「ビッグ盆!」の実施など、いわゆる文化振興という枠組にとどまらない、アートと社会をむすぶ包摂的モデルをつくりあげました。

現代社会において、孤立化していく個人や閉塞化した共同体を「アート」という手法でエンパワメントし、網の目のつながりを構築することはアートの可能性として注目されることでしょう。

これら非営利性の高い事業に取り組みつづけることは、運営基盤が脆弱なアート NPO では運営が難しいものですが、事業委託や助成金の獲得、ボランティアの積極的な取り組み、また多くの応援ネットワークによって運営の基盤を得ることができました。

また第三期の特徴として、これまでの経験を最大限にふまえ、「神戸市/神戸文学館/指定管理者応募(次席落選)」と「大阪市/フェスティバルゲート暫定公共利用案競技応募(首席落選)」という 2 つの大きなプロジェクトに取り組みました。

これら 2 つはともに落選となり(19 年 6 月現在)でしたが、これらの経験を次年度以降に活かしていけるよう、努力していきたいと思います。

➤ えとことばを中心とした表現活動の活性化の場とメディア提供を目的として、大阪・新世界フェスティバルゲート内で、交流スペース「cocoroom」を運営/管理。特にカフェスペースを「就労支援 cafe ココルーム」として機能させ、表現やアートの手法を用いる独特の方法論で、就労問題に取り組みました。

就 労支援事業2年間の成果として、調査研究報告書冊子「アートによる包摂型就労支援の可能性」を発行(発行は19年度)。

研 究者などと協働することによって、「アートによる包摂型就労支援」という新たな就労支援のあり方やモデルをつくりあげました。

活 動の報告と広報を兼ねる内容の「ぼえ犬通信」を発行/配布し、インターネット上でもウェブサイト「Web cocoroom」を運営/管理、メールマガジン「ココルームからのお便り」を発行。

表 現と社会をつなぐためのボトムアップとして、一般市民を対象とした詩作の入門編とも言える「詩の学校」を大阪/京都で昨年度につづき継続開催。同学校はその他の地域などでもスポット的に開催いたしました。

視 覚障害者施設でのワークショップも隔週で開催し、視覚障害者など、普段現代文学に親しむ機会の少ない方へのアウトリーチ活動として、公開小説朗読録音アーカイブ事業「BooksArchives」を毎月開催。特別イベントも開催しました。

む すびプロジェクト」の成果としてイギリス公演の招聘があり、自立支援ディレクターをキーマンとした高齢者問題へのアプローチは国際的な評価を得ることとなりました。多くの市民とふれあい、ともに作品づくりをする、という形で、自立を助ける独特のアプローチは、市民や、各行政機関やメディアなどから、評価と支持を得ているとの実感とともに、

次 年度もわたしたちの活動を幅広くネットワーク化していきながら、今後も、芸術振興と市民文化への貢献に務めていきます。

3、事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 事業名 鑑賞及び発表機会提供事業

事業名 鑑賞及び発表機会提供事業

内容 「P.P.P.C.B.N.」「Chimes ～ prick up your ears」「声と音のドラマリレーディング/ヨ・サ・ノ」ほか

実施場所 cocoroom

実施日時 年度内で随時実施

事業の対象者

収入 ¥1,667,950-

支出 ¥1,090,034-

(2) 事業名 交流スペース及び市民相談窓口管理事業

事業名 交流スペース運営及び管理事業

内容 交流スペース「cocoroom」「就労支援 cafeBANDcocoroom」を管理運営することにより、アンダーグラウンドアートの支援と、

市民に開かれた文化活動の場を提供することに務め、アートによる包摂型就労支援の取り組みを実施した。(2006年度全日稼働)

実施場所 大阪市浪速区恵美須東 3-4-36 フェスティバルゲート 409 号室

実施日時 毎日 12 時から 23 時半

事業の対象者 一般市民

収入 ¥5,031,500-

支出 ¥3,737,467-

(3) 事業名 調査・研究とその発表の為に放送・出版・ウェブ制作及び流通事業

事業名 フリーペーパー発行及びウェブ制作事業

内容 フリーペーパー「ぼえ犬通信」(隔月刊)発行とウェブページ「web cocoroom」を制作・管理・運営することにより、本 NPO の事業内容の紹介と調査・研究内容の周知に務めた。

実施場所 大阪市浪速区恵美須東 3-4-36 フェスティバルゲート 409 号室

実施日時 「ぼえ犬通信」12 号～ 21 号及び特別号 3 回・各 5000 ～ 6500 部発行

「web cocoroom」随時更新。

メールマガジン「ぼえ犬通信」及び「cocoroom からのお便り」は隔週発行

事業の対象者 一般市民

収入 ¥20,000-

支出 ¥207,620-

(4) 事業名 人材育成、教育プログラムおよびアウトリーチ事業

事業名 BOCKS ARCHIVE 事業

内容 優れた現代文学などの朗読を公開でレコーディングして、デジタルデータとしてアーカイヴ保存、視覚障害者などへも貸し出しを行った。(85 夜～ 99 夜)

実施場所 大阪市浪速区恵美須東 3-4-36 フェスティバルゲート 409 号室

実施日時 月曜日の 20:30 ～ 22:30(月間 1 回ペース)

事業の対象者 一般市民および視覚障害者

事業名 ワークショップ人材派遣事業

内容 「詩の学校」と題した詩のワークショップを大阪と京都でそれぞれ隔週開催。

視覚障害者施設などへのワークショップ人材を養成、派遣。

アウトリーチ活動を事業化・継続できる仕組みづくりにつとめた。

実施場所 應典院(大阪市)、京都芸術センター(京都市)、日本ライトハウス(大阪市)など

実施日時 各月最終水曜日の19:30～21:30(應典院)、各月最終木曜日の19:00～21:00(京都芸術センター)、隔週金曜日の13:30～15:30(ライトハウス)

事業の対象者 一般市民、視覚障害者など

事業名 人材育成、教育プログラムおよびアウトリーチ事業

内容 「大大阪 artTEXT(大阪府楽座事業助成)」

実施場所 中之島図書館(大阪市)

実施日時 2006年9月16日

事業の対象者 一般市民

収入 ¥635,000-

支出 ¥721,325-

(5) 事業名 アーツマネジメント普及の為のコンサルティング事業

事業名 芸術振興の為のイベントプロデュース事業

内容 「サンクチュアリ」「あんなこともあったよ～ねえおじいちゃん」

「田んぼの学校」

「熊野の森に木を切りにいこう！」

「ほうきぼしプロジェクト」などの事業実施を通じ

商業ベースに納まりきれないアート作品の発表機会の創出につとめ、表現と社会をむすぶ活動をおこなった。

実施場所 cocoroom(大阪市)、など

実施日時 2006年5月～3月に渡りそれぞれの事業を実施

事業の対象者 一般市民

収入 ¥19,600-

支出 ¥958,900-

(6) 事業名 人と街と文化に焦点を置いた地域活性化事業

事業名 人と街と文化に焦点を置いた地域活性化事業

内容 「ビッグ盆！」

実施場所 フェスティバルゲート及び浪速区の近隣地域

実施日時 2006年7月15日～8月3日

事業の対象者 一般市民

収入 ¥0

支出 ¥47,757

(特記事項)

尚、上記の非営利事業にかかる財源として、

1, 助成金等収入 ¥850,000

2, 寄付金等収入 ¥3,729,518

3, 事業受託収入 ¥1,053,500

4, 新規事業収入 ¥1,399,890

5, その他事業会計繰入金収入 ¥4,849,959

などを充当することで、管理を含め、事業展開を行った。

2 その他の事業

事業実施方針

遊休スペースを利用した喫茶事業、アーティストの作品等の販売事業、アーティストの派遣や制作請負いなどのクリエイティブ部門事業を行うことで、その収益を特定非営利活動に係わる事業の運用資金に充てることを目的とする。

その他の事業

(1) 事業名 喫茶事業

事業名 喫茶事業

内容 遊休スペースを利用してカフェを開設する。

尚、8月からは「就労支援 cafe BAND cocoroom」と銘打ち、仕事の斡旋などの市民相談窓口としての機能を拡充させた。

(事業に係る収入と支出は非営利事業の中で計上)

実施場所 大阪市浪速区恵美須東 3-4-36 フェスティバルゲート 409 号室

実施日時 12:00 から 22:30(2005 年度全日稼働)

事業の対象者 一般市民

収入 ¥7,772,969-

支出 ¥2,970,043-

(2) 事業名 販売事業

事業名 販売事業

内容 アーティストの作品等を販売することで収益をあげる。

実施場所 大阪市浪速区恵美須東 3-4-36 フェスティバルゲート 409 号室

および当法人のウェブサイトなど

実施日時 不定休の 12 時から 22:30 時

事業の対象者 一般市民

収入 ¥0-

支出 ¥0-

(3) 事業名 クリエイティブ部門事業

事業名 クリエイティブ部門事業

内容 アーティストの派遣や制作請負いなどのクリエイティブ部門を開設し、公共機関や一般企業相手の窓口となる。

実施場所 大阪市浪速区恵美須東 3-4-36 フェスティバルゲート 409 号室

実施日時 不定休の 12 時から 23 時

事業の対象者 一般市民

収入 ¥0-

支出 ¥0-

4 社員総会の開催状況

理事会その他の役員会の開催状況

第2回理事会

日時 2006年6月27日 14時15分から15時15分まで

場所 大阪市浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート409号 cocoroom

理事総数 6名

出席者数 3名(委任状提出者3名)

内容

第1号議案 2005年度事業報告書承認の件

審議の結果、満場異議なく承認可決。

第2号議案 2005年度決算承認並びに監査報告に関する承認の件

審議の結果、満場異議なく承認可決。

第3号議案 新理事選任の件

審議の結果、満場異議なく承認可決。

報告事項 2006年度の事業計画及び収支予算報告の件

議長の指名により、飯島秀司副代表理事から報告がなされた。

第2回定時総会

日時 2006年6月27日 15時15分から16時15分まで

場所 大阪市浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート409号 cocoroom

社員総数 15名

出席者数 8名(委任状提出者3名)

内容

第1号議案 2005年度事業報告書承認の件

審議の結果、満場異議なく承認可決。

第2号議案 2005年度決算承認並びに監査報告に関する承認の件

審議の結果、満場異議なく承認可決。

第3号議案 新理事選任の件

審議の結果、満場異議なく承認可決。

報告事項 2006年度の事業計画及び収支予算報告の件

議長の指名により、飯島秀司副代表理事から報告がなされた。

臨時理事会・臨時総会

日時 2007年3月13日 21時00分から22時15分まで

場所 大阪市浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート409号 cocoroom

社員総数 15名

出席者数 6名(委任状提出者4名)

内容

第1号議案 フェスティバルゲート暫定公共利用案公募に関して

審議の結果、満場異議なく承認可決。

第2号議案 ココルームの今後の展開について

審議の結果、上田假奈代代表理事に一任することで、承認可決。

以上